

プラスワンメールマガジン

第13号 平成22年8月25日

皆さんこんにちは。第13号のプラスワンメールマガジンをお届けします！
残暑の厳しい日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

夏は、野外での活動がよく行われることと思いますが、年々暑さが厳しくなっており、皆さんも野外活動においては、十分に水分をとり熱中症に注意して活動してください。

今回ご紹介するプラスワンメールマガジンの中にも、夏ならではの活動を行っている方々のことや、いつ何時起こりうるか分からない災害に向けてのボランティアについて、ご紹介しています。

今夏も半ばを過ぎましたが、熱き思いでボランティア活動を行っている方々と接することで、新たな『気づき』を得ることもあると思いますので、「暑さ・熱さ」に負けず、プラスワン活動に参加してみてください。

- 第 13 号 【1】プラスワンコラム**
～ 特定非営利活動法人 伊万里湾小型船安全協会の巻～
- も く じ 【2】なるほどボランティア**
～ 災害ボランティア活動のココロエ～
- 【3】プラスワン体験記**
～ 読書ボランティア「紙ふうせん」の巻～
- 【4】プラスワン活動拠点のご紹介**
～ 小城市社会福祉協議会
市民ボランティアセンターの巻～

- 【1】プラスワンコラム ～プラスワン運動に携わる思い～**
『水域を利用する人々の安全と環境保全に取り組んでいます』
特定非営利活動法人 伊万里湾小型船安全協会 事務局長 淵上 司

伊万里湾小型船安全協会では、小型船舶や水上バイクを使用して、水域を安心して利用できるよう海上パトロールやイベント等の海上警戒や海上の浮遊ゴミの回収を実施しています。

特に、水上バイクを利用した活動は、平成18年に佐賀県炎博記念地域活性化事業に「青バイ隊活動」として採択され、水上バイクの特性を活かし安全指導や水難救助活動を行うこととなりました。



「青バイ隊活動」は、全国で注目され、各地に設立されています。今年7月には、全国普及を目的に「日本青バイ隊」を設立し、日本の水域を守る活動へと発展しています。

また、佐賀県との協働事業として、環境活動の「シーバード活動」にも取り組んでいます。

シーバード活動は、船舶から海上の浮遊ゴミの回収や沿岸に漂着したゴミを回収する活動です。活動には、小学生から大人までが参加し、日常生活からでたゴミが海上に流れ出し、環境を悪化させている状況を認識することで、環境保全への意識を高める活動となりつつあります。

シーバード活動は、毎月第2土曜日に実施していますので、多くの方々の参加をお待ちしています。



詳しい情報は、ホームページをご覧ください。
特定非営利活動法人 伊万里湾小型船安全協会
ホームページ <http://www.imari-marina.com/>

【2】なるほどボランティア ～県社協からのワンポイントレッスン～ 災害ボランティア活動のココロエ 社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会

猛暑続きの今夏、皆様いかがお過ごしですか？
今回は、災害ボランティア活動について、少しお話しさせていただきます。

地震や水害など過去には、日本各地で被害が発生し、その際には、多くのボランティアが、被災住民の生活支援に向けた活動を精力的に展開しています。災害では、それまでの生活が一変し、避難所など限られた環境での生活が、強いられる場合もあります。そうした際の災害ボランティア活動として、生活環境の復旧（掃除・片付けなど）から、被災者の心のケア（傾聴やレクリエーション）、また、技能により支援する活動など幅広い内容が望まれています。

皆さんもちょっとした手伝いから、スキル（技能）を活かした活動など、災害ボランティアに活かしてみませんか？

詳しい情報は、社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会へ
TEL 0952 - 23 - 2145 / FAX 0952-25-2980

ホームページ『佐賀県民災害ボランティアセンター』
http://www.sagaken-shakyo.or.jp/saigai_vol/sai_vo_top.htm

**【3】プラスワン体験記 ～できることから始めてみませんか～
『子どもたちの豊かな心を育てるお手伝い』
読書ボランティア「紙ふうせん」 代表 溝口 紀代美**

読書ボランティア「紙ふうせん」は、子どもたちの豊かな心を育てるお手伝いができればとの思いで9年前に結成しました。社会福祉協議会やボランティア連絡協議会を始め、たくさんの町民の方々のあたたかいご支援を受けて活動しています。

最近の活動では、年2回の「おはなし会」を開催しており、夏の「七夕おはなし会」では、パネルシアターや絵本で七夕のお話を楽しんだ後、色とりどりの短冊に願いを書きます。このような活動を通じて、幼い頃の夢を、いつまでも大切にしてほしいですね。

12月には、クリスマスのお話の後、佐賀市内のジュニアオーケストラをお招きしたり、中学校の吹奏楽部の生徒さんに来ていただき、ミニコンサートを親子で楽しんだりしてもらいました。

今年の夏は、小学校、保育園、幼稚園、放課後学級へパネルシアター持参で「お話し会」を開催しています。

これからも無理をしないで、子どもたちと楽しみながらボランティアを続けることが、私たちの願いです。

<お問い合わせ先>

大町町社会福祉協議会 TEL0952 - 71 - 3001

ホームページ <http://care-net.biz/41/oomachisyakyo/>

【4】プラスワン活動拠点のご紹介 ～発見！あなたの街の活動拠点～
『小城市に住んでいて、良かったと思える地域づくり』
小城市社会福祉協議会 市民ボランティアセンター

小城市社協市民ボランティアセンターでは、地域の絆づくりや人づくり、住民同士支え合う地域力の向上のため、様々な取り組みを行っています。

主な内容は、ボランティアの登録斡旋、グループやサークルの活動支援、朗読や手話ボランティアなどの養成講座や小中学生を対象にしたボランティア体験学習など、小城の方々が集い、そして活動しやすい環境作りに努めています。

夏休みは、多くの小中学生がボランティア体験学習により、様々な体験を通して、誰かのために活動することの大切さに気づく時間でもあります。

私たち市民ボランティアセンターでは、こうしたボランティア活動支援を通して、一人でも多くの市民の方が、「小城市に住んでいて、良かった」と思える地域づくりを目指していきたいと思います。

小城市社会福祉協議会 市民ボランティアセンター
(小城市小城町畑田 750 小城保健福祉センター
「桜楽館」内 電話0952 - 73 - 2700)
ホームページ：<http://www14.ocn.ne.jp/~o-syakyo/>

『CSOポータル：<http://www.cso-portal.net/>』絶賛更新中！

～佐賀県で唯一のCSO情報ポータルサイトです～

これまでの『プラスワンメールマガジン』については、

CSOポータルバックナンバー：<http://www.pref.saga.lg.jp/web/plus1.html>
をご覧ください。

『CSO・ボランティアネット（携帯・PCメールでの有益情報）』配信中！

～CSO関連の有益情報をタイムリーにお届けいたします～

まずはお気軽に「CSO@123123.tv」に空メールを送ってください。

(ご不明な点などは、男女参画・県民協働課までご連絡ください。)

県では、現在この仕組みをCSO関係者や県民の皆さまに広げていきたいと考えています！まずは是非、自ら「CSO・ボランティアネット」にご登録いただき、お知り合い等にもメール情報を転送して登録をお勧めいただくことで、情報の輪が広がれば幸いです。

また、「CSOポータル」と併せて「みんなで作るCSO情報網」を目指していますので、皆様からの情報提供・ご意見も“男女参画・県民協働課（danjo-kenmin@pref.saga.lg.jp）”へどうぞよろしく願いいたします。

本メールマガジンは、登録申請された方はもとより、当課職員が名刺交換の際に受信の了承をされた方々等に配信させていただいております。

また、本メールマガジンについては、プラスワン活動の推進を目的に発行しておりますので、当課の事前了承（著作権使用許諾）がなく転載・転送されても結構です。

なお、本メールマガジンの配信がご不要になられた方はお手数ですが、配信停止のご連絡をお願いいたします。

..... ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~

注) プラスワン運動とは：

仕事や家庭のほかにもうひとつ社会的役割を持ちましょう！と佐賀県が進めている、いわゆるボランティア推進のための運動です。

注) CSOとは：

Civil Society Organizations（市民社会組織）の略で、NPO法人、市民活動・ボランティア団体（以上志縁組織）に限らず、自治会・町内会、婦人会、老人会、PTA（以上地縁組織）といった組織・団体も含めて、「CSO」と呼称しています。

..... ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~

発行責任者

佐賀県男女参画・県民協働課 課長 稲富 正人

編集担当

佐賀県男女参画・県民協働課

CSO活動支援担当 係長 山田 博則

CSO活動支援担当 嶋本 悟司

danjo-kenmin@pref.saga.lg.jp

TEL:0952-25-7374

社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会

まちづくり課 野添 大介

TEL:0952-23-2145